

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和5年度小・中学校初任者研修 新採用養護教諭研修 新規採用学校栄養職員研修 地区別研修 A 特別支援学校研修

- 日 時：令和5年10月11日（水）9：50～16：15
- 会 場：福島県立相馬支援学校（南相馬市鹿島区寺内字鷺内79）
- 参加者：小学校教諭17名、中学校教諭9名、養護教諭2名、学校栄養職員1名 合計29名
- 内 容：講話「特別支援教育について」 授業参観・校舎見学 講話「本校の教育課程について」
研究協議「小・中・義務教育学校における特別支援教育で大切なこと」

【研修のまとめ】

本日の講義、演習等の内容を踏まえ、初任者として今後の授業実践や研修等に臨むにあたり、以下のことに留意していただきたいと思えます。

- 講話を通して学んだ特別支援教育の校内体制づくり、合理的配慮などの視点を、学級担任や教科担任、養護教諭、学校栄養職員、それぞれの立場で児童生徒へのよりよい支援に生かすこと。
- 支援を必要としている子どもの目線で現状を見つめ直し、一人一人に応じた支援の在り方について考えていくこと。
- 普段何気なく実践している配慮について、その意図を明確にし、周りの先生方と共有することで、チームとしての取組ができるようになる。組織的な支援を通して、児童生徒自身の困り感の解消・解決を図ること。

研修の感想

- 自立活動の様子を見ることができ勉強になった。先生方が常に子どもたちと笑顔で接していて、安全・安心の学校作りがされていると感じた。
- その場しのぎの対応ではなく、原因究明をし、それに対する対応が先につながっていくことを学んだ。認め合いができる学級経営の大切さを感じた。
- 単元ごとに授業を考え、子どもの実態をよく理解した上で柔軟な指導を行っていることが分かった。勤務校に戻って生かしていきたい。
- 本人の希望、思いを取り入れ、そこにあわせた合理的配慮を実践していくことが、教師のすべきことであると感じた。
- 合理的配慮と自立活動、この両輪が重要であると感じた。本人の気持ちにより添い、その対応を組織で考え、行動していくことが大切であると感じた。

